

第157回通常議員総会 令和2年度事業計画及び収支予算を承認 3月23日(参加者64人)

第157回通常議員総会を開催し、「令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)」、定款の一部変更について審議を行い、全会一致で承認しました。また、2019年度の新入会員数は216社で、年度末会員数4,548社となり、平成17年度から15年連続200社以上の新規加入と会員数純増が達成されました。

令和2年度事業計画のポイント

1. 中小企業・小規模事業者の経営力強化支援と持続的発展の推進

- ・経営支援基幹システム(BIZミル)を活用した伴走型支援の実施
- ・市場情報評価ナビMieNa(ミーナ)等を活用した相談業務の高度化
- ・海外における商談会・物産展等への出展サポート事業の実施
- ・中小企業強靱化法を踏まえたBCP策定支援セミナー等の実施
- ・働き方改革関連法の制度に関する周知

2. 地方創生の実現を目指した地域振興事業の推進

- ・多言語通訳機を活用したおもてなし事業の実施
- ・東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせた誘客促進事業の実施
- ・古町芸妓の多言語によるPR動画の制作と活用

3. 競争力強化を後押しする環境整備(提言・要望)

- ・規制・制度改革に対する要望

4. 組織・財政基盤等の強化

- ・事務全般におけるICTを活用した効率化と「見える化」の推進

※「R2年度事業計画」、「収支予算」の詳細は、当所ホームページをご覧ください。冊子をご希望の方は、当所総務課までご連絡ください。



令和2年度税制改正等説明会を開催 ～企業経営委員会(木山 光委員長)～ 3月5日(出席者12名)

始めに、新潟地方財務局 登記官の小林まりこ氏が、法人登記の留意点やオンライン申請のメリット等について説明しました。

続けて、日本商工会議所 産業政策第一部副部長の宮澤 伸氏が「令和2年度税制改正の概要及び消費税軽減税率制度」について説明しました。

今回の改正では、企業の事業革新につながるオープンイノベーションを促進するための税制措置の創設や、創業を促進する税制措置として、エンジェル税制の拡充(対象企業要件の緩和や個人投資家の裾野拡大)が図られました。

また、昨年10月に導入された消費税軽減税率制度の留意点の確認や、インボイス制度導入に向けた準備の重要性についても説明しました。

通常議員総会の上程議案を審議

～総務委員会(吉田徳治委員長)～
3月12日(出席者15名)

各部会・委員会の部会長、委員長で構成する総務委員会を開催し、通常議員総会に上程する「第4次中期(3カ年)ビジョン(案)及び令和2年度事業計画(案)」「令和2年度収支予算(案)」「定款の一部変更(案)」について慎重審議の結果、いずれも原案どおり承認しました。

また、事務局から会員増強運動について、新規加入200社以上と会員数純増が15年連続達成できると報告しました。



つなぐ。
支える。
事業を、地域を。

日本公庫は、民間金融機関の取組みを補完し、事業に取組む方々等を支援する政策金融機関です。
中小企業・小規模事業者、農林漁業者の皆さまのさらなる発展を応援します。

日本政策金融公庫
新潟支店

国民生活事業
025-246-2011

農林水産事業
025-240-8511

中小企業事業
025-244-3122

**ビジネス
実務法務
検定試験**

こんな方におすすめ

若手ビジネスパーソン、
法務部、営業、販売、
人事、総務 など

第47回
2・3級

試験日 **6月21日(日)**

申込登録期間 **4月7日(火)～5月8日(金)**
10:00より開始 18:00締切り

インターネット登録
<https://www.kentei.org/>

電話登録 **03-3989-0777**
東京商工会議所検定センター
(土日・祝休日・年末年始を除く 10:00～18:00)

資金繰り対策セミナーを開催 2月18日(参加者12名)

消費税引き上げ後の資金繰り対策として、「経営状況の把握、課題解決に向けて」と題するセミナーを開催しました。今回の講師、(資)コンサルタンツ ノヴァール代表で中小企業診断士の時山 正氏は、中長期的には時代の変化に対応し続けること、短期的には客単価もしくは客数を増加させることが事業を続けるために必須。それを踏まえた上で、安易な借入れを避け、返済計画の見直しを行うことで、資金繰りを改善させることは可能であると述べました。



古町の魅力を広く深く学ぶ ～第10期ふるまち大学 修了式～ 2月18日(参加者19人)

古町地区の多様な魅力を発信し、古町ファンを増やすことを目的に昨秋から全4回で開催していた、「第10期ふるまち大学」の修了式を行いました。

会場となった行形亭では、代表の行形和滋氏による特別講演や、施設を見学しながら同氏の詳しい説明を受けた後、昼座敷の体験を行いました。

受講者は、日本文化の粋を集めた空間による学びを堪能し、「貴重な体験だった」など、満足の声が多く聞かれました。



女性会新春講演会・新年会を開催 ～女性会(竹林昭代会長)～ 2月21日(出席者53名)

新春講演会では、ナチュラルメディカル(株) 代表取締役の下條 茂氏が、「企業と個人の健康経営に効く心理学」と題して講演しました。

下條氏は、「“心”の定義は自分で動くことである」と説明したうえで、「会社経営では、経営者や社員が自分で動くことが大事である。心を動かせるように仕事をしなければならぬ」、「丁寧に分かりやすく、同じことを繰り返し話すことで心は動くもの」と述べました。



地域の文化資源を活かして古町の魅力を発信

～古町漫画映画オデオン「白蛇伝」上映会～
2月24日(参加者64人)

新潟が誇るアニメ・マンガ文化等の価値を広くPRして定着させ、まちを活性化することを目的に、「古町漫画映画オデオン『白蛇伝』上映会」を開催しました。

当日は、古町地区の映画館跡(旧松竹)を会場に、日本アニメの黎明期を支えた東映動画による日本初の長編カラーアニメとして名高い『白蛇伝』を上映し、識者による解説を行いました。

なお、3月15日に予定されていた2回目の上映会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。



地域資源とインバウンド

～新潟国際ビジネス研究会 (一社) 新潟県商工会議所連合会、ジェトロ新潟、長岡国際ビジネス研究会 共催～
2月27日(出席者40名)

始めに、(株)日本政策投資銀行新潟支店 次長 関 尚久氏が「新潟におけるインバウンド推進に向けて」と題して講演しました。関氏は、新潟への訪問者は新潟単独の旅行では無く、富士山や東北エリア、日光などの周遊の中で新潟を訪れる傾向にあると説明し、他地域と連携した観光ルート構築が重要だと強調しました。

次に、新潟大学経済学部 准教授 岸 保行氏が「世界初!新潟発!『日本酒学』の可能性～“コトの世界”と“ハイ・プレミアム観光”の創造～」と題して、日本酒をキラーコンテンツとした地方創生の可能性について講演しました。

最後に、(一財)長岡花火財団 事務局長 佐々木秀俊氏が「長岡まつり大花火大会」について紹介し、今後のインバウンド受入体制の充実等について説明しました。

商工クラブ例会

～わかりやすいメンタルヘルスの取組方～
～商工クラブ(南波秀憲理事長)～
3月9日(出席者16名)

新潟商工会議所会員の親睦団体である商工クラブは例会を開催しました。今回は、「わかりやすいメンタルヘルスの取組方」と題し、新潟労働衛生コンサルタント事務所 所長の鈴木美和氏が講演しました。

鈴木氏は、メンタルヘルス対策として、職場を元気にさせるには、リーダー自身が職場を良くしようという使命感を持つことがポイントで、職場全体で、「元気に挨拶」「言葉がけ」「前向きな言葉を使う」「褒める」「感謝を伝える」などを行うことが大切であると説明しました。

